

慈恵園だより

No.36

えがお

- 発行日／平成23年5月29日
- 発行所／芦別市旭町28番地
特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
- 発行責任者／川邊弘美
- 印刷所／株式会社ワタナベ企画いんさつ



脳の健康教室

「えがお塾」開講します!!



芦別慈恵園では、くもん学習療法センターの指導をもとに、ご利用者の方に脳の健康維持と生きがい作り、認知症の予防を目的に学習療法を行ってまいりました。実際に認知症の進行予防に効果の見られる方もおります。その経験を生かし今後は地域の方にもぜひ体験して頂こうと、今年度は地域の方に向けた、脳の健康教室「えがお塾」を行う事になりました。そのモデルケースとして、上芦別ひぐらし町内会館で地域の方を対象に開催いたします。開催期間は今年の6月8日から11月末までの半年間を予定しています。

興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。



「えがお塾」 開講に向けて

4月2日、22日の2日間、上芦別ひぐらし町内会館で脳の健康教室「えがお塾」開講に先駆けての説明会を行いました。

老人クラブの時間をお借りして、「えがお塾」の効果の説明と体験。そして、「ハンドマッサージを交えた「サロン」を行わせて頂きました。教材を用いて「読み書き」・

「計算」など行う事は、皆さん普段からあまり馴染みがないようで、最初は戸惑っていましたが、すぐに熱心に問題を解かれていました。

「簡単だけど緊張したよ。」と笑ってお話される方や、「健康のために続けていきたい」と意欲を持たれる方がいらっしやいました。

「サロン」の方では職員によるハンドマッサージを行いながら、日頃の生活の事などお話しされており、とても活気のある時間となりました。

その後、5月10日には「学習者」への説明会と脳の健康診断をしました。17日に「サポーター」の研修会を行い新たに4名のサポーターが誕生しました。

いよいよ6月8日から脳の健康教室「えがお塾」を開講する予定です。



えがお塾サポーターの皆さん



中西友子さん



寺岡敬子さん



稲津事務員



有倉絹枝さん



東日本大震災被災地 支援活動を行っています

菅別慈恵園では東日本大震災の被災地支援活動の一環として、『東北関東地方大震災共同支援ネットワーク』（代表・武田和典氏、本部・仙台市）にボランティアとして職員を派遣しています。これは同じ福祉に携わる法人また人としてやれる事をしようと職員一丸となって積極的に活動に関わって行こうと考えたからです。

代表を務める武田和典先生は、当法人の職員研修の講師として長年ご指導いただいておりますが、この度、震災発生直後に共同支援ネットワークを立ち上げられ、慈恵園としても被災地復興に全面的に協力しています。

職員派遣として4月19日より、深沢事務長と和田課長の2名が石巻市桃生町に入りました。和田課長は10日間の派遣予定を延長し5月末まで

の約40日間、ボランティア活動を行なっています。また活動のために軽自動車の貸与、資金の提供などの支援を行っています。内容としてはネットワーク事務局の業務として全国からのボランティア希望者で介護職希望の方の受け入れ先の割り振りや入れ替えの調整、また『地域支援チーム』として既存の家を利用した『宅老所』の開設準備、運営支援の実施、訪問入浴の実施など地元の方が住んでいた地域に戻り生活できる糸口となるような支援活動を行っています。また、もみ塾としてフットケアなども行ない避難所やボランティアの方々に大変喜ばれています。

今後も継続的な職員派遣が行えるように、空知管内の福祉施設と連携を取りながら活動をしていきます。



今日の活動へいざ出発！



慣れた手つきで手打ちそば提供中



訪問入浴の準備中



避難所でのフットマッサージで
いやしのひと時を……



ボランティア手作り簡易浴場
避難所の皆さんに利用してもらいました



代表・武田和典先生



ボランティアつかの間の食事時間



第1回目の会議



運営委員会

最近では介護に関して、その取り巻く環境が変化して多様な課題もあります。一番考えなければいけないことは、利用者がその人らしく地域で住み続けられることとであり、それを支える人々の連携が必要です。そこで市内の介護保険サービスに関わる機関及び事業所の代表等が構成し、『みんな介護を考える会』を昨年10月に創設しました。この会を通して、地域の声を吸い上げて講演会、勉強会、懇談会などを行い、介護に携わる地域住民や事業者が共に参加するネットワークを作り、一人一人がその人らしく暮らせる地域づくりを目指していきます。

活動内容としては、毎月の運営会議、アンケート調査、事業所合同研修会、介護保険市民講座、広報活動などを予定しています。具体的には毎月の運営会議で方針を決めて、6月には在宅の生活・介護についてアンケート調査を行い第5期介護保険計画の参考資料とします。合同研修会や市民講座を行い、地域で連携して暮らして行けるにはどうしたらよいかを考えます。また広報活動として考える会のチラシや紹介パンフレットを作成します。

みんな介護を
考える会を創設



『認知症サポーター養成講座』を開催しました

4月27日、職員と地域の方を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。
この講座は厚生労働省の「認知症を知り地域をつくる」キャンペーンの一環として全国的に開催されているものです。慈恵園ではグループホームあさひ施設長の大高和枝さんを講師に迎え81名が参加しました。計3回行い126名の全職員が受講します。

認知症サポーターとは認知症を正しく知り認知症の方とご家族を支援する人ということで、慈恵園の職員としてサポーターの枠をこえて自分の仕事にも活かしていけるようにと真剣に講義に聞き入っていました。

熱心な質問も



講師・大高和枝さん



ふるさとユニット改修工事を行います。



ショートステイは、たくさん利用を頂いておりますが、さらに利用しやすく改修工事を行います。供用開始は7月1日の予定です。

部屋の設えをホテルのような雰囲気にして少し豪華な居室内にはトイレを設置し、引き戸ドア、床もクッションフロアにします。

ふるさとユニットはショートステイ専用となり、かざぐるまのショートステイは廃止し、長期入居に切り替えます。これにより、利用者の豊かな暮らしを実現し、その喜びを享受できる環境づくりができ、全道のモデル的取り組みとしてイメージアップを図ります。

工事中いろいろとご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。



平成23年度新採用職員研修

3月24～26日の3日間、新採用職員研修を実施しました。
今年度の対象者は9名でオリエンテーション、自己紹介に始まり内容の濃い研修が続き、新人の皆さんも真剣に取り組んでいました。



新採用職員 新人です、よろしくお願いします。



ケアワーカー 古田 純也



ケアワーカー 高橋亜香里



調理員 松田 紗英



ケアワーカー 石井 春菜



ケアマネジャー 石川 友和



看護師 石村美佐子



ケアワーカー 中泉 育巳

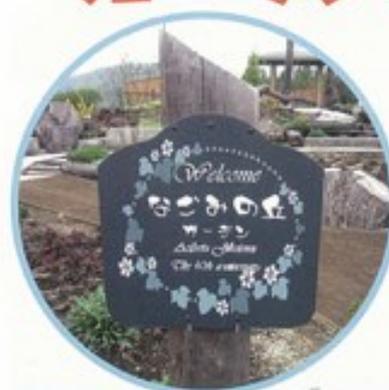


ケアワーカー 田中 照二



ケアワーカー 香川まどか

6月1日 なごみの丘が オープンします!!



新年度の花壇整備も始まり職員総出で草むしりをおこなったり、花植えも順調に進んでいます。いよいよ6月1日午前11時よりオープンセレモニーを開催します。足湯びらきや手打ちそば、甘酒コーナーもありますので、ぜひご参加ください。お待ちしております！



★芦別高校インターンシップ研修がありました。

高校2年生の4名が職業体験にきました。介護のしごとはどうでしたか？



デイサービス

- ★今月から私も学習療法をはじめました。今は「えがお教室」って言うんですね。認知症の予防になるみたいだし、これからも家で元気に暮らしていきたいから、がんばるわ！でも、難しい問題は勘弁してね。
- ★去年一年で「頭の体操」をする人がずいぶん増えたな！聞いたら21人にもなるって。こないだ普段あまり話をしない人と一緒に勉強したけど、おもしろい人でね。それからは普段からも話したり、一緒に散歩に行ったり・・・デイサービスに来る楽しみが増えたよ
- ★足のマッサージを受けてもう半年になるね。最近は家で出来るマッサージを教えてもらって、家でもやっているの。次の日起きたら足がすっごい楽でびっくり。これからは家でできるマッサージがあったら教えてね。
- ★(もみ塾担当の職員に)最初マッサージを受けた時からみたらだいぶ上手になってきたよ。手つきが違うよ。人数も150人を超えたって言うし、200人 300人目指してもっともっと上手になってくれよ
- ★私が持ってきたお花をデイサービスに飾ってもらっているの。家では自分1人で面倒を見ているけれど、職員の方と一緒に育てていくのも楽しくて。「今日はあの花どうなっているかな？」と次のデイサービスの日を心待ちにしています。



評議員に
神田弘亜氏

5月の理事会・評議員会で承認され、新しい評議員として 神田弘亜(ひろつぐ)氏が就任しました。

神田氏は昭和17年3月18日生まれ、69歳。農業を営み、これまでに芦別市教育委員、同委員長を歴任。現在は芦別市民生児童委員、芦別市芸術文化交流館運営委員長を務めておられます。これからよろしくお願ひ致します。



● もみじの家 ●



もみじの家は『認知症対応型通所介護』として3年を迎え、今年から通年営業を開始させていただきました。

もみじの家のご利用者の皆さんが、慣れ親しんだ地域で、元気に近隣の方とのふれあいを感じながら、住み慣れた自宅で暮らせることを願い、学習療法をはじめ家事、歌、朗読、散歩などの生活リハビリを大切にしています。

5月5日には旭町町内会の皆さんとの『もちつき大会』を開催し、最近ではめずらしい昔ながらの杵と臼の餅つきにご利用者の皆さんも喜んでいました。搗き上がったお餅は、納豆や大根おろしで食べやすくして美味しく頂きました。



● かざぐるま ●



かざぐるまは4年目を迎え、新人スタッフ3名と、本体から1名が加わり新たなスタッフで、

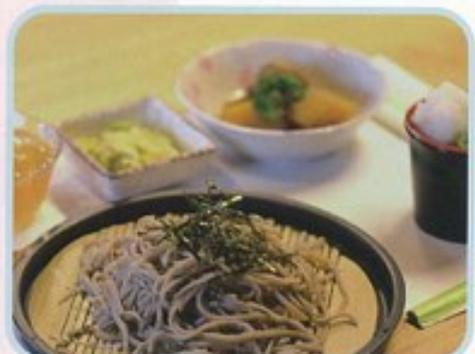


ご利用者20名とともに、町内会活動の公園清掃や運動会、秋祭りの子供神輿など、地域の皆さんとの交流機会も増えています。

地域交流室では、子育てサークル活動なども行われ、ご利用者との交流もあり、小さな子供さんが来てくれて可愛い声が響くと、ご利用者さんも笑顔になって元気を頂いているようです。

地域食堂『カフェかざぐるま』では、地域の方や、顔なじみのお客様が増えています。特に毎月第2週の金曜日は「手打ちそばの日」で、楽しみに待っていて下さる方もいるようです。ぜひ一度食べにきてください、お待ちしております。

◎ご予約は
お電話 24 - 6333 までどうぞ。



ひろば



○「美味しい羊羹なんか食べたいですね」
「うちで昔羊羹作ってましたよ」
「それなら今度作ってくださいな。食べたいです」
「あはは、もう作れないですよ。昔はよく家で作ってましたけど。今度は食べる方になりましょう」

○最近は天気も悪くて気温が低いし、雨も降っているから農家さんは大変ですよ。私も昔農家してたからわかりますよ。いつもならもう少し暖かいのにな。もう植えないと間に合わなくなるから本当に天候に左右される仕事ですよ。

○俺は昔から酒もタバコも飲まない真面目人間だよ。絵を描いたり、習字をしていたことがあってね。奥さんも書道や紙人形なんかもやってるからね。お互いよく手を動かしてたもんだ。



ご厚意ありがとうございます。

(平成23年3月～4月・敬称略)

▽寄付金

(芦別市) 君島 洋、藤田 忠男、
芦別市老人クラブ連合会

▽寄付物品

(芦別市) 加藤 勝美、山崎 一保
芦別市老人クラブ連合会

▽訪問・ボランティア

ともしび会、はまなす、
さくら、ふきのとう、
マーガレット、ミケ、
アトム、コロちゃん、
芦別市老人クラブ連合会



笑顔いきいき!!

★芦別市老人クラブ連合会訪問



★施設長とツーショット



★喫茶マーガレットでデート中?



★スタッフとピース!!



スタッフ★コラム

大震災の報道を見るたびに心が痛みますが悲しみを乗り越えて復興する被災地の皆さんの力強さに感動します。

穏やかに暮らせる事に感謝しながら、遠くからでも力になれる事とは何かを考えながら行動して行きたいですね。

★桜満開

